



(仮称) 磐田市文化会館



※画像は完成イメージです

特別シリーズ②

to the future...

磐田の未来へ

未来に向かって

〜新時代に向けた文化の拠点へ〜

磐田市の未来へ向けたまちづくりをシリーズを通して紹介します。第2弾は「文化」。目指すのは、歴史ある磐田の文化を「継承し、創造し、発展させる」こと。新時代に向けた市民活動の拠点、市民の憩いの場となる新しい文化会館を紹介します。

文化を継承する 施設に

現在の市民文化会館は、今年で開館から40年目を迎え、空調設備や給排水設備の故障など施設の著しい老朽化が課題となっています。市では、4年前から新しい会館の建設について検討を重ね、昨年の11月に公開プロポーザルを行い、設計者を決

定しました。また、市民の皆さんの意見を取り入れるため、パブリックコメントを実施したほか、今年の夏には高校生・一般公募者などによるワークショップを行い、新しい文化会館に必要な設備や利用方法などを提案してもらいました。

昨年末から約8カ月をかけ、市民の皆さんの意見を取り入れながら基本設計を進め、今年の8月末に歴史ある磐田の文化を継承する新しい文化会館の※基本設計が完成しました。

※基本設計の詳細は、市ホームページをご覧ください

ページ番号 1001659

新しい会館の ここに“注目”

～座席空間は県内最大級、居心地を重視～

Point1

ゆったりとした座席

現在の会館と比べ、座席空間（座席幅×奥行）をそれぞれ6cm広くし、長時間の公演でも疲れない設計としました。



Point2

ロビーの充実

開場前でも、屋外ではなく屋内で待つことができるよう、広いロビースペースを確保します。

Point3

女性用トイレの充実

公演の休憩時間などの混雑を緩和するため、現会館の20基から37基に増やし、全てを洋式化します。



インタビュー

ワークショップに参加して

磐田農業高校吹奏楽部 3年 鈴木梨里さん (右)
2年 松浦和奏さん



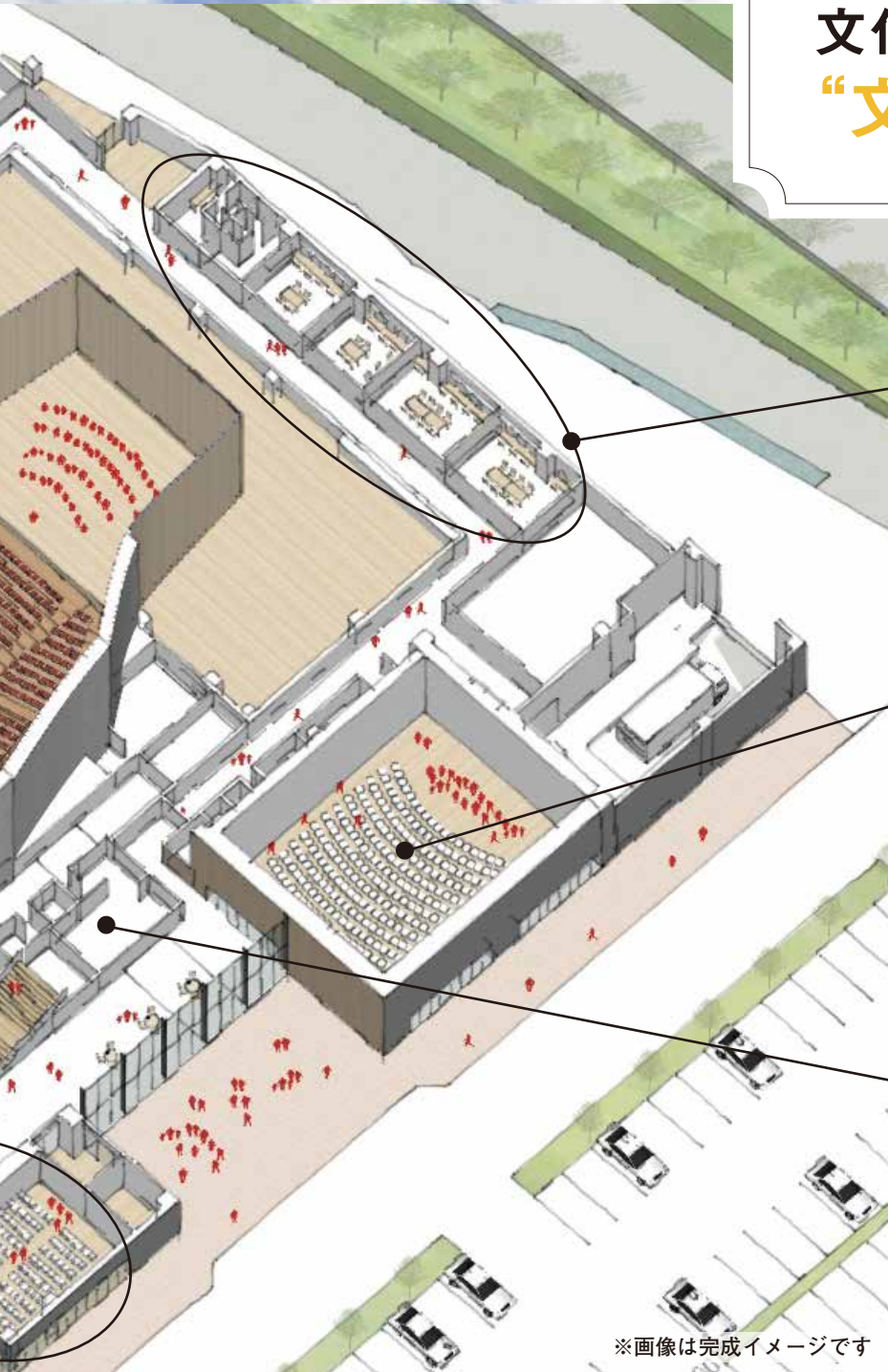
基本設計を見てどう思いましたか？
トイレの数を増やしたり、楽器の搬入が楽になる工夫をしたりと、ワークショップの意見が所々に反映されてうれしかったです。使う人の気持ちに寄り添って設計しているところがいいと思うし、文化会館が使いやすいこと、音が実感できてうれしいです。
リハーサル室や創造活動室など、音を出せる部屋が多くて完成が楽しみです。

新しい文化会館を思い浮かべながら、みんなで話し合うことができて楽しかったです。みんなで一緒に作っていることが実感できました。

ワークショップに参加してみようでしたか？



文化の拠点となる “文化会館”のナカミ



楽屋

さまざまな利用者に対応できるよう、大・中・小の楽屋をそれぞれ設け、広い通路を確保します。

リハーサル室

ホールの舞台とほぼ同じ広さを確保し、ホールで行う公演のリハーサルが行えます。小規模な公演や会議、展示会など幅広い活用ができます。

ホワイエ

2階は正面玄関に向かって開放的な吹き抜けの空間になっており、正面広場を望むことができます。



※画像は完成イメージです

新しい文化会館が、新時代の文化の拠点として多くの皆さんに利用され、愛される居心地の良い施設となるように、今後の整備に取り組んでいきます。

最大の特長は、何と言っても座席です。県内最大級の座席空間でゆったりと鑑賞ができます。また、開館時間内はロビーを常時開放し、市民の皆さんの憩いの空間として活用できるようにします。リハーサル室はホールの舞台とほぼ同じ大きさを確保することで、現会館ではできなかった本番を想定したリハーサルができるようになります。そのほか、練習や体験活動、会議などに利用できる創造活動室の設置など、さまざまな文化活動に対応できる設備を備えます。

より、使いやすい、施設に

新しい文化会館の設計には、会館の利用機会が多い市内高校の文化部の生徒や文化団体・障がい者団体の代表者のほか、公募した一般の方からも利用者目線でアイデアをいただきました。



文化振興課

出沢 佑樹

ホール

約1,500席の多目的ホールとして、市民の幅広い活動に対応できます。

1階と2階が分かれた2層構造になっており、1階のみを開放して、公演を行うこともできます。



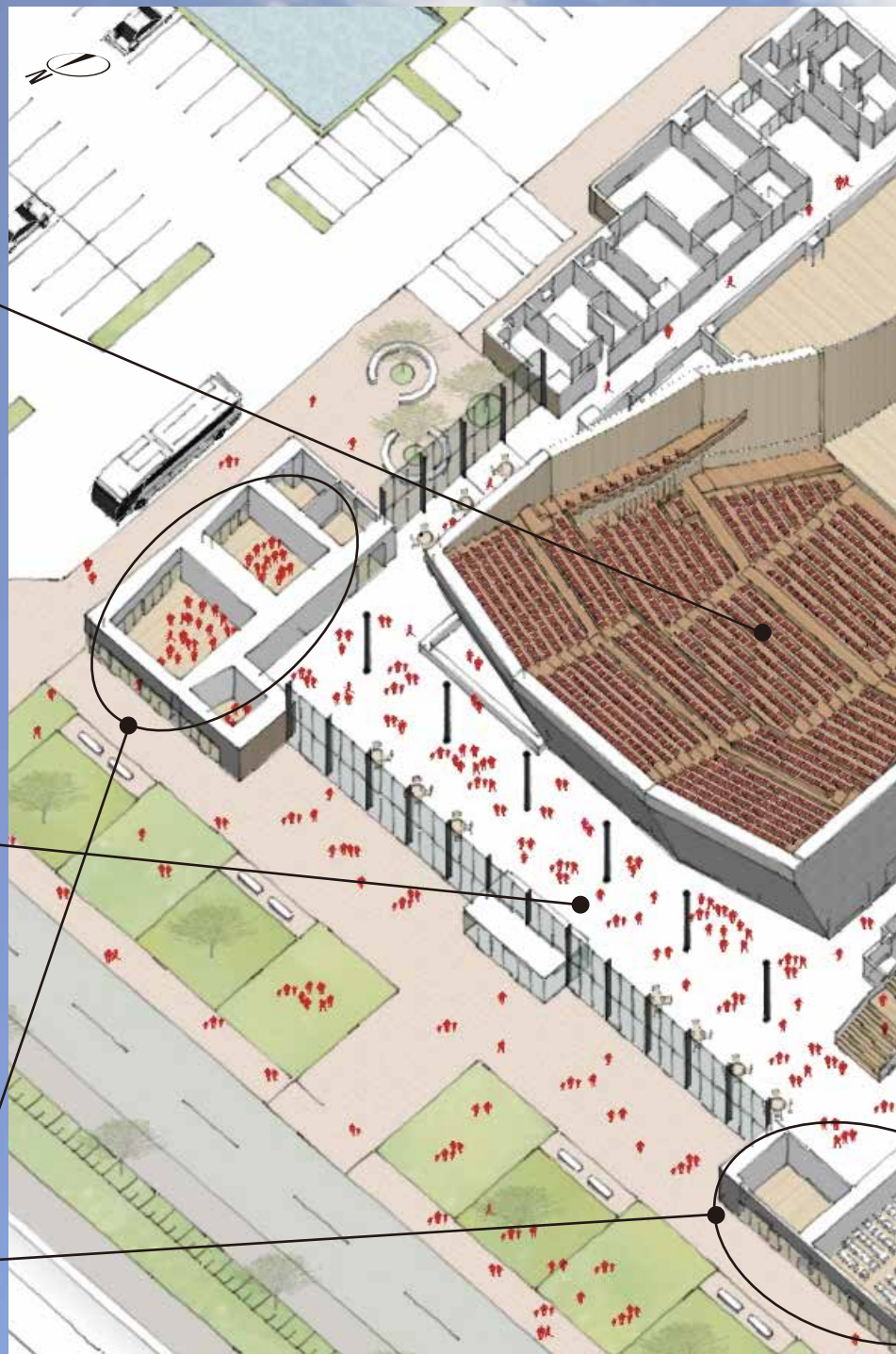
ロビー

開館時間内は常時開放し、市民が普段から集まる開かれた空間を目指します。打ち合わせや休憩などで使えるように椅子・机などを設置し、開場前に屋内で待つことができるようになります。



創造活動室

音楽のパート練習やダンスの練習など、さまざまな利用ができます。また、会議室や控室として利用することもできます。



文化会館のこれから

現会館は、長年音楽や舞踊、演劇などの発表・鑑賞の場として親しまれてきました。しかし、開館から40年が経過して老朽化が進み、公共施設として十分な機能を果たすことが困難になりつつあります。利用者の皆さんの安全確保のため、現在、閉館時期の検討を行っています。

これに伴い、来年10月1日(火)以降のホールおよびリハーサル室の貸し出しを停止しています。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

オープンは2022年4月

新しい文化会館は、8月に基本設計が終わり、現在、実施設計(工事発注のための図面の作成や経費内訳書の作成など)を行っています。来年から2021年にかけて工事を行い、2022年4月のオープンを予定しています。

工事などの進捗状況は、市ホームページでお知らせしていく予定です。